

本時のねらい

・筆者の主張に触れたことにより「働くこと」へのイメージが変化したことに気づき、「働くこと」に対して自分の考えを持つことができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・ジャムボード、Google スライドを利用し、自分の意見と他者の意見を即時参照できる空間を作り上げ、比較し、交流・議論する機会を設定する。
・Google スライドを用いて作成した資料について発表することで、タブレット端末の優位性である視覚に訴え、即時に活用できる利点を取り入れる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Google classroom ・ジャムボード ・Google スライド ・Google フォーム ・タブレット PC ・大型モニター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○ジャムボードで前時の学びを振り返る。 ⇒前時は本文を音読し、「働くこと」とはどういうことかジャムボードを活用して考えさせた。本時の導入としては、作成したジャムボードを再度見直す。 ⇒ジャムボードで振り返ったことを発表し、全体で共有する。 【写真1】	・データの蓄積というクラウド環境があることで、前時のジャムボードを改めて見直したり、発表させたりできる。
展開 (40分)	○展開①（個人の学習） 「働くこと」について自分の考えをスライドにまとめる。 ⇒「働くこと」について自分の考えを持った上で、将来なりたい職業について、ネット検索や他者のデータを参考にしながら、1枚のスライドにまとめる。 ○展開②（発表） 「働くこと」について、みんなの意見を聞こう。 ⇒作成したスライドを活用して、全体の前で数人に発表してもらい、他者の意見を聞く。 【写真2】	・スライド作成 ①職業 ②なりたい理由 ③写真 の項目を作成させる。 職業のイメージや、働いている人のことを想像しながら、その職業の良さについてスライドでまとめることで、「働くこと」に自分の考えや気持ちを整理していく。 他者のデータを参照することにより、より多くの情報を参考にしながら自分の考えを整理できる。
まとめ (5分)	○本時のふり返しをする。 【写真3】	・フォームで本時のふり返しをすることにより、すぐにどのタイミングでも全体に共有できるというメリットがある。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】 前時に作成したジャムボードについて学級全体に説明している様子



【写真2】 自分の将来なりたい職業についてスライドにまとめている様子



【写真3】 今日のふり返しをフォームに入力している様子

児童生徒の反応や変容

・ネット検索や他者参照をすることで、より多くの生徒が自分の考えを整理しやすい状況になり、どの生徒も授業に積極的に参加し、職業に対する肯定的な気持ちや職業選択の視野を広げることができた。
・他者参照しながら作成することで、発表に関しても、自分の作成した原稿や発表内容に自信を持つことができ、より積極的に発表にのぞむ姿が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

クラウド環境を有効に使うことで、意見を伝えたり、考えを共有したりすることの楽しさに気づかせることができる。前時までに作成した資料を、次時の導入でふり返し、また本時の課題に活かすという学びの連続性を意識しながら課題の設定や資料の準備を行った。